

## 5 無理やりに性交等された被害経験

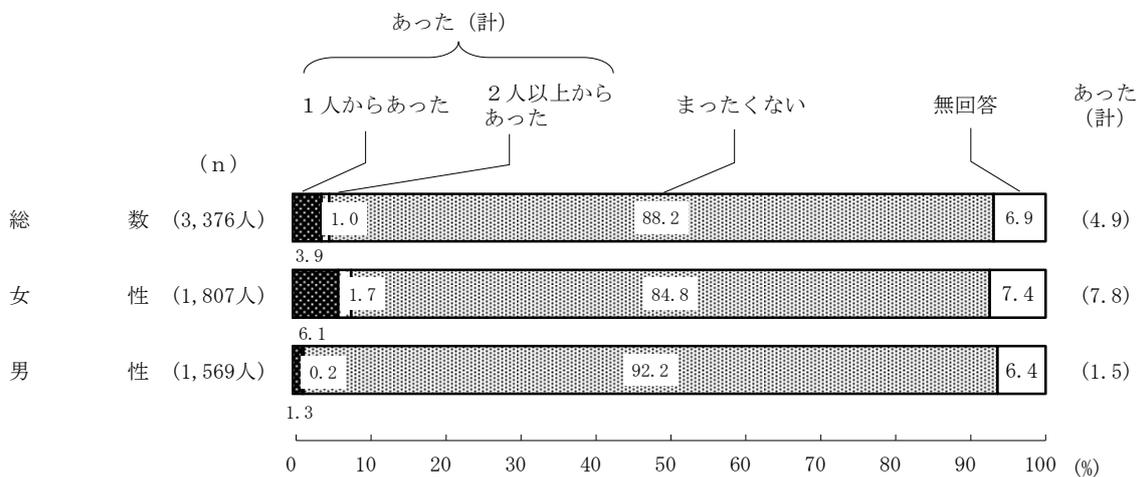
### (1) 無理やりに性交等された被害経験の有無

これまでに、相手の性別を問わず、無理やり（暴力や脅迫を用いられたものに限らない）に性交等（性交、肛門性交又は口腔性交）されたことがあるかを聞いたところ、「1人からあった」が3.9%、「2人以上からあった」が1.0%で、被害経験のある人は4.9%となっている。

性別にみると、被害経験のある女性は7.8%、男性は1.5%となっている。（図5-1-1）

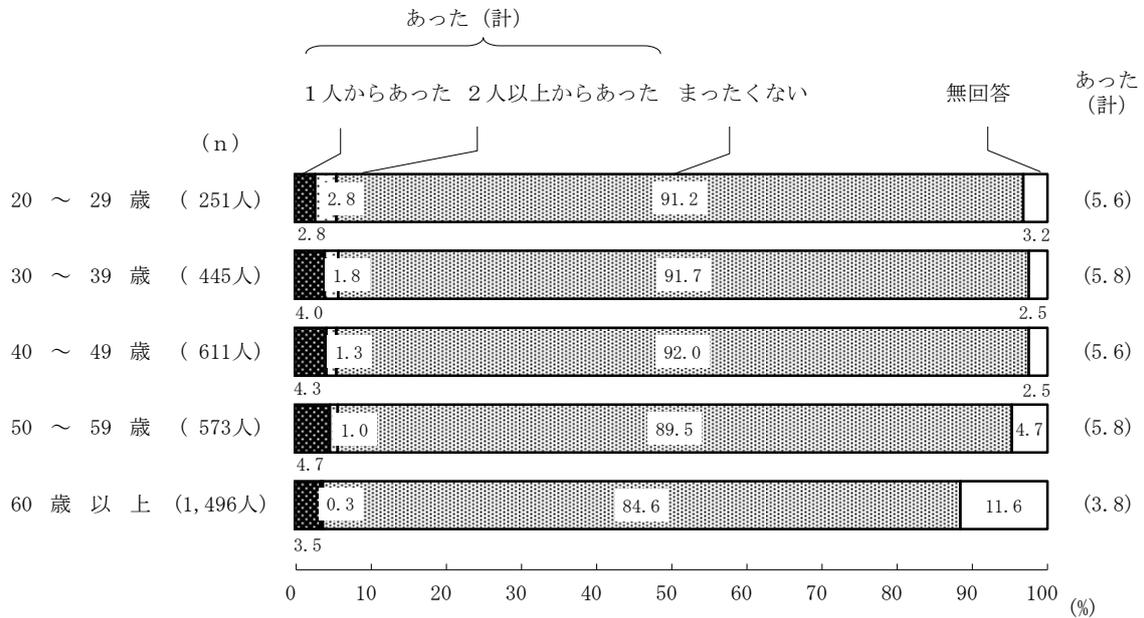
子供の頃も含めて、これまでの経験についてお聞きします。  
 問31 あなたはこれまでに、相手の性別を問わず、無理やり（暴力や脅迫を用いられたものに限ら  
 せん）に性交等（性交、肛門性交又は口腔性交）されたことがありますか。  
 あてはまる番号1つに○をつけてください。（○は1つ）

図5-1-1 無理やりに性交等された被害経験の有無



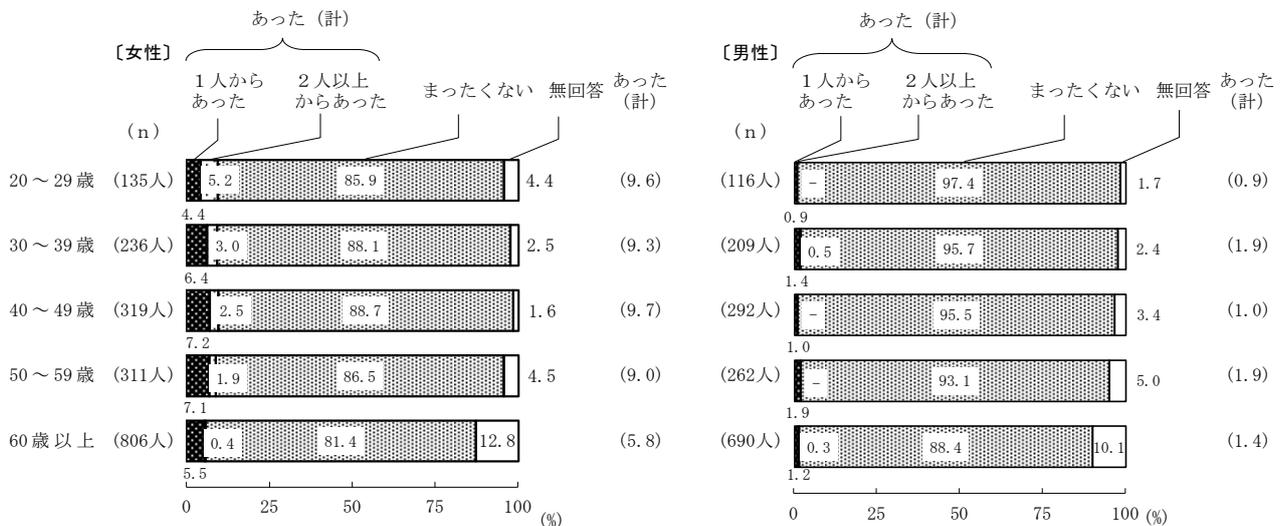
年齢階級別にみると、無理やりに性交等の被害が『あった』という人は60歳以上を除く年齢階級で5.6%以上となっている。(図5-1-2)

図5-1-2 無理やりに性交等された被害経験の有無(年齢階級別)



性・年齢階級別にみると、無理やりに性交等の被害が『あった』という人は女性の20歳代から50歳代で1割近くになっている。(図5-1-3)

図5-1-3 無理やりに性交等された被害経験の有無(性・年齢階級別)



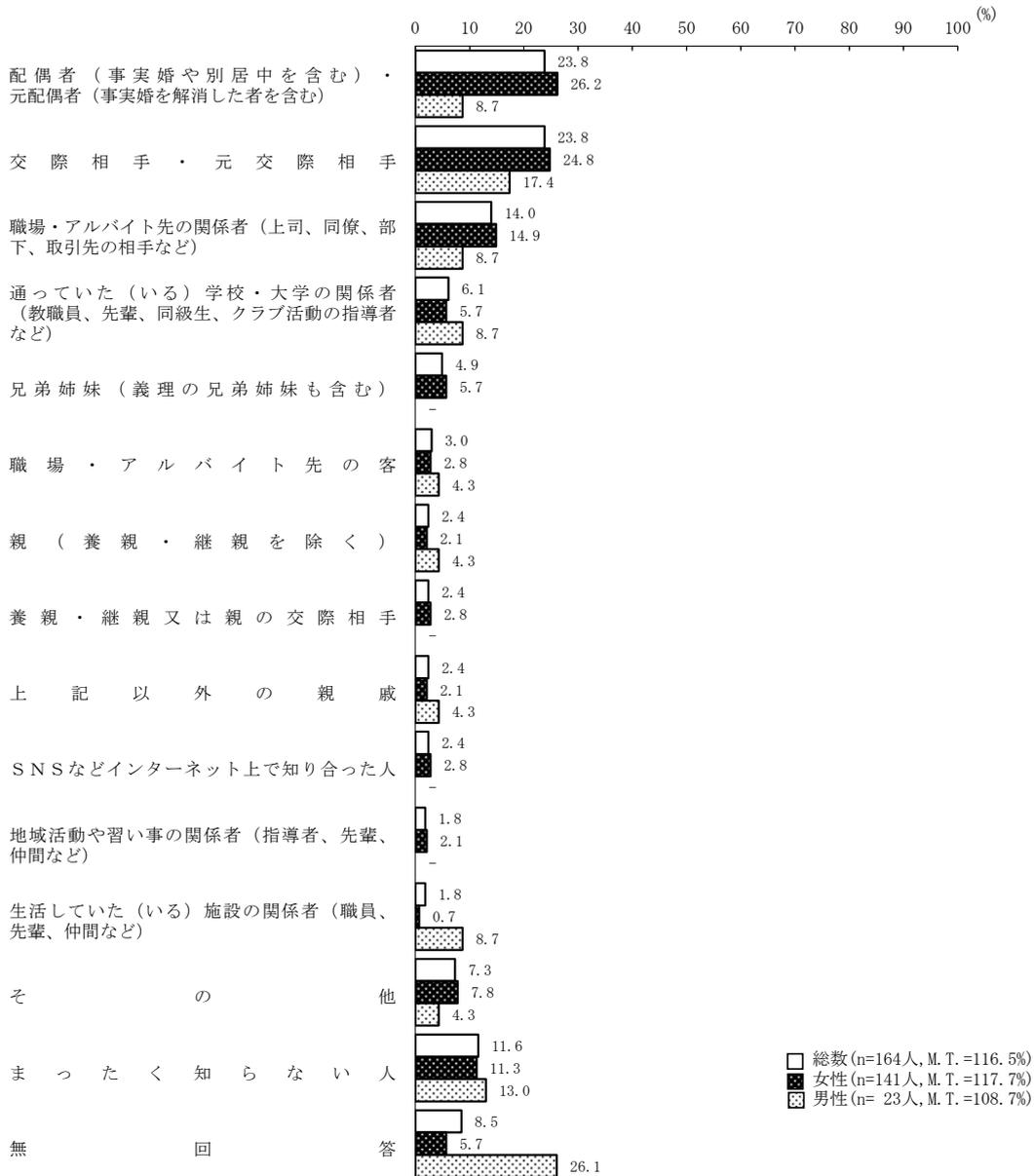
## (2) 加害者との関係

無理やりに性交等されたことがあった人（164人）に、加害者との関係を聞いたところ、「配偶者（事実婚や別居中を含む）・元配偶者（事実婚を解消した者を含む）」、「交際相手・元交際相手」が23.8%と多く、次いで「職場・アルバイト先の関係者（上司、同僚、部下、取引先の相手など）」（14.0%）などとなっている。

性別に見ると、女性では「配偶者・元配偶者」が26.2%で最も多く、男性では「交際相手・元交際相手」が17.4%で最も多くなっている。（図5-2-1）

問32 加害者はあなたとどのような関係でしたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。2人以上から被害にあった方については、すべての被害についてお答えください。（○はいくつでも）

図5-2-1 加害者との関係



また、加害者の性別を聞いたところ、「異性」が89.0%、「同性」が3.7%となっている。(表5-1-1)

問 32-1 また、加害者の性別はどちらでしたか。  
 あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

表5-1-1 加害者の性別（複数回答）

(無理やりに性交等された被害を受けたことがある人)		(%)		
	総数	女	男	
n	164	141	23	
異性	89.0	93.6	60.9	
同性	3.7	1.4	17.4	
無回答	7.9	5.7	21.7	
延回答(計)	100.6	100.7	100.0	

加害者との関係を加害者の性別でみると、「親（養親・継親を除く）」、「兄弟姉妹（義理の兄弟姉妹を含む）」、「通っていた（いる）学校・大学の関係者（教職員、先輩、同級生、クラブ活動の指導者など）」、「地域活動や習い事の関係者（指導者、先輩、仲間など）」では「同性」からの被害もある。(表5-1-2)

表5-1-2 加害者の性別（加害者との関係・複数回答）

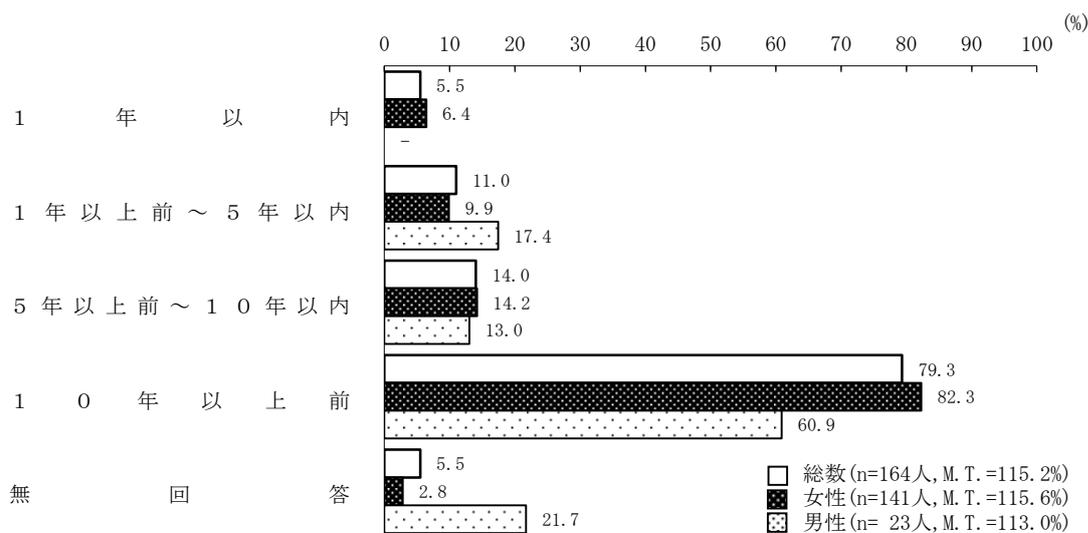
(無理やりに性交等された被害を受けたことがある人)		(%)				
	総数	異性	同性	無回答	延回答(計)	
n	164	89.0	3.7	7.9	100.6	
配偶者（事実婚や別居中を含む）・元配偶者（事実婚を解消した者を含む）	39	97.4	-	2.6	100.0	
親（養親・継親を除く）	4	50.0	25.0	25.0	100.0	
養親・継親又は親の交際相手	4	100.0	-	-	100.0	
兄弟姉妹（義理の兄弟姉妹を含む）	8	75.0	25.0	12.5	112.5	
上記以外の親戚	4	75.0	-	25.0	100.0	
交際相手・元交際相手	39	97.4	-	2.6	100.0	
職場・アルバイト先の関係者（上司、同僚、部下、取引先の相手など）	23	100.0	-	-	100.0	
職場・アルバイト先の客	5	80.0	-	20.0	100.0	
通っていた（いる）学校・大学の関係者（教職員、先輩、同級生、クラブ活動の指導者など）	10	80.0	20.0	-	100.0	
地域活動や習い事の関係者（指導者、先輩、仲間など）	3	100.0	33.3	-	133.3	
生活していた（いる）施設の関係者（職員、先輩、仲間など）	3	100.0	-	-	100.0	
SNSなどインターネット上で知り合った人	4	100.0	-	-	100.0	
その他	12	100.0	-	-	100.0	
まったく知らない人	19	94.7	-	5.3	100.0	

### (3) 被害にあった時期

無理やりに性交等されたことがあった人（164人）に、その被害にあったのは何年前か聞いたところ、「10年以上前」が79.3%と最も多く、次いで「5年以上前～10年以内」（14.0%）、「1年以上前～5年以内」（11.0%）、「1年以内」（5.5%）となっている。（図5-3-1）

問33 あなたが被害にあったのは何年前ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。  
 （○はいくつでも）

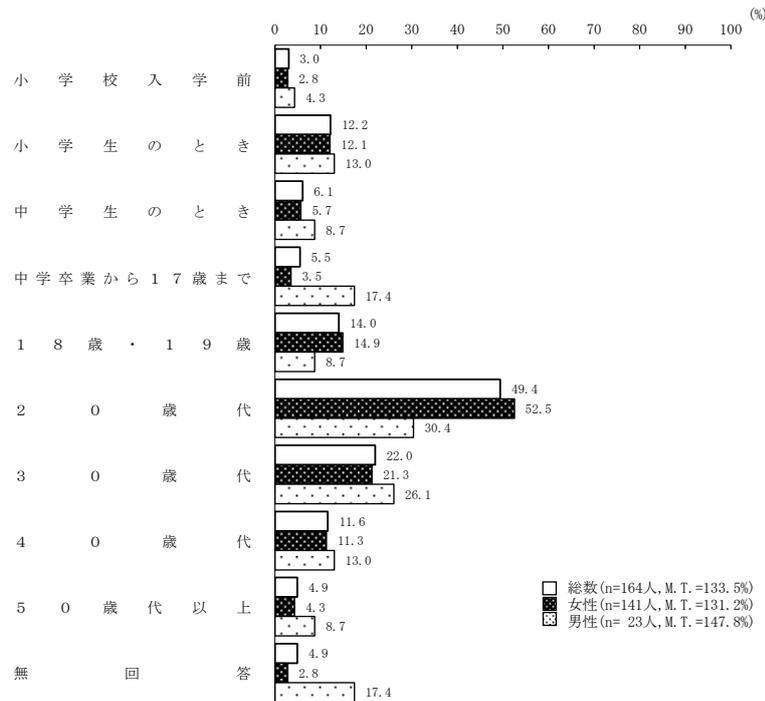
図5-3-1 被害にあった時期（何年前・複数回答）



また、被害にあったのはいくつのときか聞いたところ、「20歳代」が49.4%と最も多く、次いで「30歳代」(22.0%)、「18歳・19歳」(14.0%)、「小学生のとき」(12.2%)などとなっている。(図5-3-2)

問 33-1 また、被害にあったのはあなたがいくつのときでしたか。  
あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

図 5-3-2 被害にあった時期 (年齢・複数回答)



18歳未満のときにあった被害について、その加害者は監護する者(例：父母等のあなたを監督し保護する者)か聞いたところ、「監護する者」が19.4%、「監護する者以外」が83.3%となっている。(表5-2-1)

問 33-2 あなたが18歳未満のときにあった被害について、その加害者はあなたを監護する者(例：父母等のあなたを監督し保護する者)でしたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

表 5-2-1 監護者からの被害経験 (複数回答)

(18歳未満のとき被害があった人)	(%)		
	総数	女	男
n	36	29	7
監護する者	19.4	17.2	28.6
監護する者以外	83.3	86.2	71.4
延回答数(計)	102.8	103.4	100.0

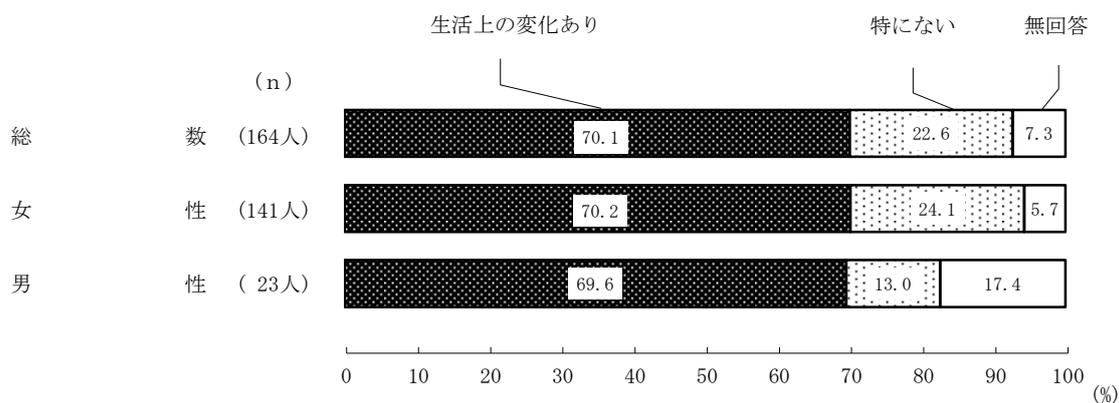
#### (4) 生活上の変化

無理やりに性交等された被害があった人（164人）に、その被害による生活上の変化を聞き、何らかの変化があったと回答した人を『生活上の変化あり』としてまとめた。

『生活上の変化あり』は、70.1%で、女性が70.2%、男性が69.6%となっている。（図5-4-1）

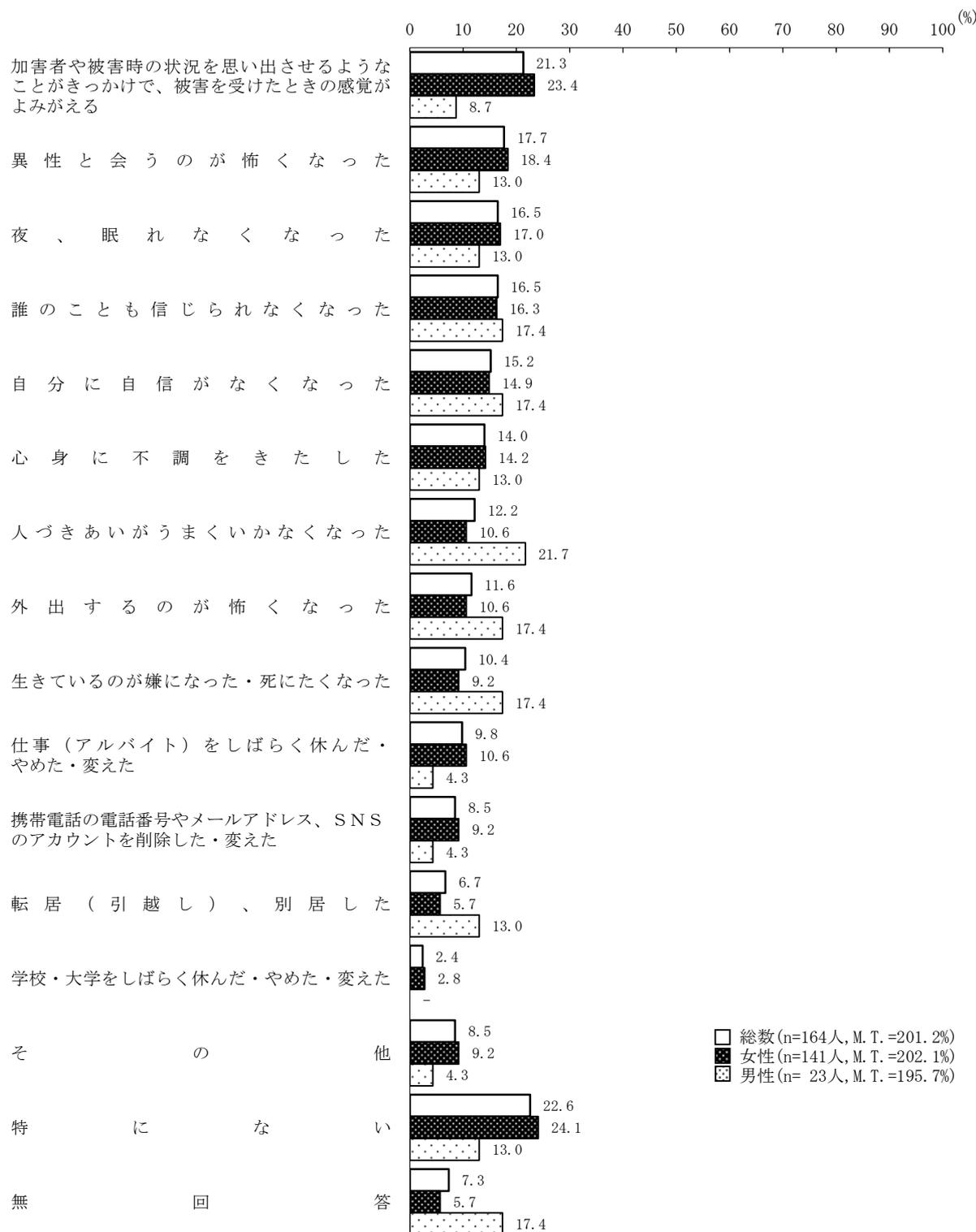
問34 あなたは、これまでの被害によって、生活が変わりましたか。  
あてはまる番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

図5-4-1 無理やりに性交等された被害による生活上の変化の有無



生活上の変化の内容をみると、「加害者や被害時の状況を思い出させるようなことがきっかけで、被害を受けたときの感覚がよみがえる」(21.3%)が最も多く、次いで「異性と会うのが怖くなった」(17.7%)、「夜、眠れなくなった」、「誰のことも信じられなくなった」(16.5%)などとなっている。(図5-4-2)

図5-4-2 無理やりに性交等された被害による生活上の変化（複数回答）



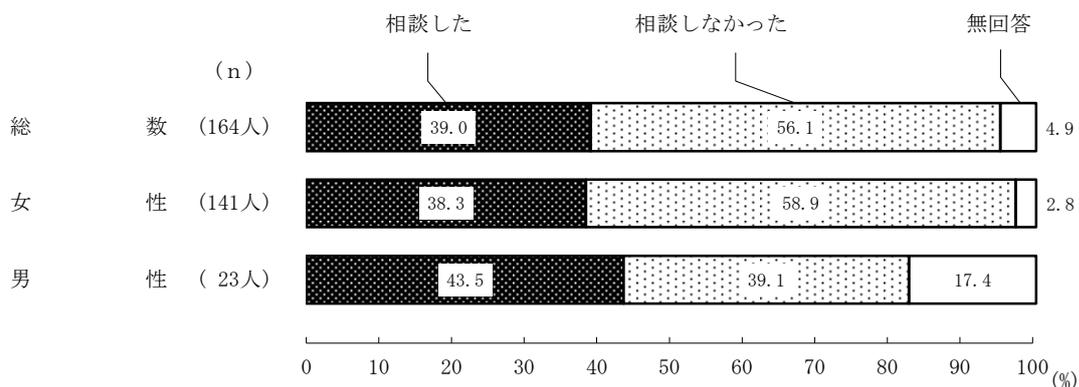
### (5) 無理やりに性交等された被害の相談経験

無理やりに性交等された被害があった人（164人）に、その被害について、だれかに打ち明けたり、相談したりしたかを聞き、いずれかの相談先を回答した人の合計を『相談した』としてまとめた。

『相談した』が39.0%で、女性が38.3%、男性が43.5%となっている。（図5-5-1）

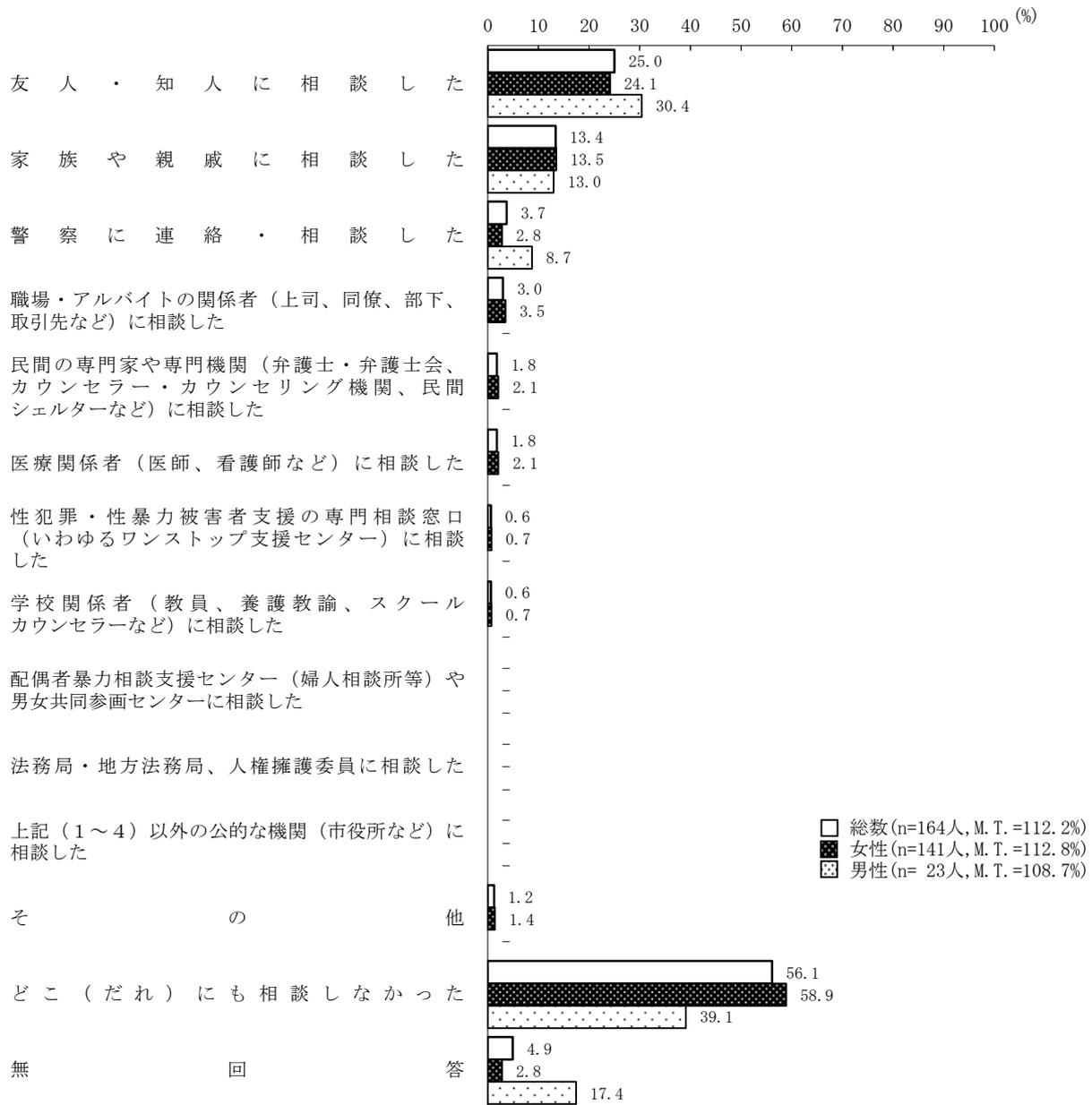
問35 あなたはこれまでの被害について、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。  
あてはまる番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

図5-5-1 無理やりに性交等された被害の相談の有無



相談先をみると、「友人・知人に相談した」が 25.0%と最も多く、次いで「家族や親戚に相談した」(13.4%) などとなっている。(図 5-5-2)

図 5-5-2 無理やりに性交された被害の相談先（複数回答）



\*「上記（1～4）以外の公的な機関」とは、下記以外の公的な機関を指す。

1. 性犯罪・性暴力被害者支援の専門相談窓口（いわゆるワンストップ支援センター）
2. 配偶者暴力相談支援センター（婦人相談所等）や男女共同参画センター
3. 警察
4. 法務局・地方法務局、人権擁護委員

### (6) 相談しなかった理由

無理やりに性交等された被害について、「どこ（だれ）にも相談しなかった」という人（92人）に、相談しなかった理由を聞いたところ、「恥ずかしくてだれにも言えなかったから」が52.2%と最も多く、次いで「自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから」（28.3%）、「そのことについて思い出したくなかったから」（22.8%）などとなっている。（図5-6-1）

問36 どこ（だれ）にも相談しなかったのは、なぜですか。  
あてはまる番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

図5-6-1 相談しなかった理由（複数回答）

